

金日成主席と金正日総書記の朝鮮 75 年史における業績

アフリカ・チュチェ思想研究委員会理事
ベナン・チュチェ思想研究全国委員会委員長
ヘス・コホヴィ

セミナー組織委員会委員長、

親愛なる朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年慶祝組織委員会委員のみなさん、

各地位と学位、職分で活動しているみなさん、

親愛なる全世界のチュチェ思想協会のメンバー、責任者のみなさん、

親愛なる参加者のみなさん、

私とベナン・チュチェ思想研究全国委員会のメンバーは 1981 年からベナンとアフリカ全土におけるチュチェ思想普及活動に積極的に参加してきました。

新聞を通じた出版活動と金日成主席と金正日総書記の著作および写真展示会、さまざまなテーマに関する討論会に次いで行われる討議がこれを具体的に示しており、これは世界の多くの人々を解放させました。

親愛なるセミナー参加者のみなさん、

まさにこうした多様な行動と活動によって栄えある 3 人の偉人である金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記が具現してきた価値観と思想を全世界に普及し、またその周りに全世界を結束することができます。

尊敬する全世界のチュチェ思想研究者と普及者のみなさん、

親愛なる友人のみなさん、

われわれは今年 2023 年の朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を慶祝します。この意義深い記念日に際して、われわれは大きな誇りを感じており、全世界にチュチェ思想と金日成・金正日主義を変わることなく普及しようとする決意で満ち溢れています。

われわれは集団的努力によってこれを実現するだろうし、ともにわれわれの目的を達成するために力強く働きましょう。

今回のチュチェ思想研究セミナーのオンライン上で私は、人類の永遠な太陽であり、人民の解放の先駆者である金日成主席が創建した朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年記念日を慶祝するこの機会に、金融大国の抑圧と従属を受けてきた人民の解放と自由のために一生をささげた尊厳高く魅惑的な人類の息子である金日成主席と金正日総書記の栄光に輝く不滅の一生について褒め称え、仰いで崇拜できる大きな栄光を迎えました。

金日成主席（1912－1994）と金正日総書記（1942－2011）は自主政治の偉大な師、すべての進歩的人民が高く戴いた偉大な国家元首でした。ぬきんでた英知を身につけた

主席と総書記は全人類の誇りでした。

偉大な領袖であり、慈父である金日成主席はチュチェ思想の創始者でした。

金正日総書記は堂々たるチュチェ思想の継承者であり、総書記はチュチェ思想を独特で深みのある原理に豊富化しました。

金正日総書記は、人類の自主化の道を明らかにした完成された社会主義思想理論の巨匠でした。金日成主席と金正日総書記の思想と理論は今日、世界的に人民大衆の運命改革と社会的進歩に大きな影響力を行使しています。

金日成主席は著作で、人民の自立と真の独立について示したチュチェ思想を通じて平和と尊厳、正義と進歩を渴望する諸国人民の運命を開拓してくれました。朝鮮民主主義人民共和国の模範は感化力をもっています。

朝鮮民主主義人民共和国は正当な理由がなしにおこなわれる帝国主義者の封鎖と 70 余年前から行われる悪辣な圧力にも関わらず、確固と立っており、これは感嘆と尊敬心をかもし出しています。

現在、複雑な国際的環境と状況にも関わらず、朝鮮民主主義人民共和国は人類の自主偉業の完成のために引き続き前進しています。これを目撃し、世界の多くの人々は朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席（1912－1994）について感銘深く回顧しています。

主席はチュチェ思想を創始して自主時代を開きました。

チュチェ思想は社会的存在、人民大衆と民族にとって自立、自主性が死活的であると見えています。チュチェ思想の創始は人類にとって歴史的出来事です。それはチュチェ思想の創始が帝国主義者と搾取階級の支配と従属下にある人民に自由と独立の道、自主発展の道を指し示す機会となったからです。

チュチェ思想は人民大衆が自然改造と社会発展の主人であり、ここで決定的役割を果たすということを明示することにより、人民大衆が自己の運命の主人となった新たな時代を開きました。

チュチェ思想にもとづいて主席は人民の自主化偉業で提起される諸問題に完璧な解明を与え、実践的模範によって自主化偉業を導きました。

主席は一世代に強大な両帝国主義を打ち破り、国の自主性と自主権を守りました。また人民大衆があらゆるものの主人であり、すべてが人民大衆に奉仕する朝鮮式社会主義制度を樹立しました。それで朝鮮民主主義人民共和国を自主、自立、自衛の社会主義国に建設しました。

特に、1950 年代の初期に朝鮮民主主義人民共和国は金日成主席の賢明な指導のもとに帝国主義連合勢力の攻撃を撃退し、これは民族独立を成し遂げるための諸国の努力に大きな影響力を行使しました。

世界のほとんどの国々が独立を達成し、この諸国で自主的な発展を志向するようにな

ると、金日成主席は全世界の自主化を全人類の解放を成し遂げるための高い段階の目標に提示しました。

主席は自主化された世界はすべての支配と植民地主義が一掃された世界、すべての国と民族が自主権を行使する世界であると定立しました。

また、主席は世界の自主化のための闘争は本質において自主に基づく国際関係を樹立し、国際社会を民主化するために努力することであると具体化しました。

主席はまた、全世界を自主化するための戦力と方途を具体的に示しました。この闘争の基本的目的は世界の帝国主義であり、それを覆すためには自主性を擁護し、社会の発展を目指してたたかうすべての反帝勢力がこの闘争で緊密に団結しなければなりません。

「自主性を擁護する世界の人民は団結しよう!」、主席が示したこのスローガンは20世紀の後半期に世界の自主化偉業において新たな飛躍を起こした鼓舞的旗印となりました。

世界の自主化偉業の道を開拓した主席の影像是人類の心の中に大事に秘められています。生前に主席は52万2千キロメートルの距離を走らせて多くの外国を訪問しました。また、国家および党首、他の政界、社会各界、科学界、そして出版界の各人士をはじめ、7万余名の人士を接見して助言を与えました。

ある国の政党の党首を接見した主席は世界に大きな国と小さい国はあるが、高い国と低い国はないし、発展した国と発展しない国はあるが、支配する国と支配される国は別れないと述べました。

人類の自主化偉業に積み上げた主席の業績はまず、金正恩総書記によって立派に継承され、その後、朝鮮民主主義人民共和国の金正恩総書記によって継承されています。

主席は自主時代とともに人類の心の中に永遠に生き続けるでしょう。

朝鮮民主主義人民共和国の永遠なる国防委員会委員長である金正日総書記（1942—2011）は世界の政治史に堂々と記される自主政治の偉大な師です

総書記の政治哲学はチュチェ思想であり、国際社会はこれを自主偉業の指導思想として見なしています。総書記は各自は自己の運命の主人であり、自己の運命を切り開く上で必要な力をもっているということを示したチュチェ思想を革命と建設に完璧に具現しました。

朝鮮民主主義人民共和国が各国で相次いで社会主義が崩壊していたさる世紀の末に微動だにせずその存在を維持することができたのは金正日総書記の確固たる自主路線をもっているからです。世界のすべての反社会主義勢力が「社会主義の終焉」を主張する時、総書記は「社会主義建設の歴史的教訓とわが党の総路線」「社会主義に対する誹謗は許されない」「社会主義は科学である」をはじめ、主要著作を発表しました。総書

記は著作で社会主義の真理性と科学的性格、その勝利の必然性について示し、社会主義朝鮮は自分が選択した道から絶対に退かないだろうし、いささかも動揺しないだろうと厳かに宣言しました。

金正日総書記の政治的業績でもっとも重要なのは先軍政治です。

いわゆる超大国を自称するアメリカを頭とする帝国主義連合勢力は地球上の力の均衡が破壊されたことを皮切りに、国際舞台で強権と専横を事としました。帝国主義連合勢力はしゃくにさわる国々にたいする侵略と干渉を露骨敵に行いました。特に、この勢力は自主の旗印を高く掲げて社会主義の道にためらうことなく進む朝鮮民主主義人民共和国に反対する総攻勢を開始しました。こうした攻勢は政治、軍事、経済、文化、外交などすべての分野に続きました。

こうした状況に対処して金正日総書記は先軍の旗印を高く掲げました。総書記によって先軍政治は社会主義基本政治方式になりました。先軍政治によって朝鮮民主主義人民共和国は軍事的潜在力を非常に高めるようになり、いかなる強大な敵も手出しできない堂々たる軍事大国の威容を轟かすようになりました。帝国主義連合勢力の総攻勢にも関わらず、朝鮮民主主義人民共和国の自主権と社会主義は完璧に固守されました。

先軍政治によって朝鮮民主主義人民共和国はアメリカのすべての暴圧的な挑戦を粉碎し、社会主義を固守し、富強する社会主義強国建設の新たな転換期を開きました。

自主、平和、親善を朝鮮民主主義人民共和国の変わりのない対外活動の基本原則として定立した金正日総書記は自主化された新しい世界を建設することに大きな注意を払いました。

総書記は帝国主義に反対する世界の自主勢力の闘争を増大させるためにエネルギッシュな対外活動をくり広げました。

総書記の自主政治の威力と生命力は 6.15 北南共同宣言とともに北と南が統一の時代をもたらした時期を通じて遺憾なく誇示されました。国の統一偉業の実現で透徹した自主の精神を体現し、朝鮮人民の力で国の統一を成し遂げるように賢明に導いた総書記によって 6.15 共同宣言（2000）と 10.4 宣言（2007）が採択され、これは朝鮮の統一のための道で新たな局面を開きました。

朝鮮人民の自主偉業と世界の自主化偉業を常に勝利的に導いた総書記の貴い尊名は世界の政治史に自主政治の巨匠として永遠に輝くでしょう。

金正日国防委員長と今日の朝鮮、朝鮮民主主義人民共和国は富強する社会主義強国建設の最中です。

20 余年前、より具体的に 1993 年 4 月 9 日、金正日総書記は朝鮮民主主義人民共和国国防委員会委員長に推戴されました。

総書記は 1990 年代の中葉、独創的な先軍政治を社会主義基本政治方式に確立し、歴

史に末永く輝く業績を成し遂げました。

先軍革命の力強い指導によって総書記は国の軍事的潜在力をさらに強化しました。

常に軍事を重視した総書記は各国で社会主義が挫折する厳しい事態の中でも、帝国主義者が朝鮮民主主義人民共和国にたいする反社会主義攻勢を集中していたさる世紀の末、先軍の旗印をより高く掲げました。総書記はひっきりなしに軍部隊を視察して自衛的国防力の中枢である朝鮮人民軍の政治思想的および軍事技術的準備を完成していききました。

総書記の指導のもとに、朝鮮人民軍はいかなる侵略者もいつでも一気に打ちのめすことのできる強力な攻撃および防御手段を備えた無敵の軍隊、社会主義守護の最精鋭軍隊に育ちました。全人民と国家を包括する防衛体系が樹立されて全民武装化と全国要塞化が絶えず行われています。朝鮮民主主義人民共和国は国防力の強化に必要な軍事装備と他の技術的装備を十分に生産でき、何人も朝鮮民主主義人民共和国の尊厳を侵せない程度に確固たる戦争抑止力を保有するようになりました。

総書記は国の政治的および思想的基礎を強化しました。

朝鮮人民軍を社会主義偉業の中枢、革命の基本力量と見なし、人民軍を中核とする朝鮮社会の政治的力量を強化することに大きな注意を払いました。

また、革命的軍人精神に基づいた思想と闘争気風の団結で朝鮮民主主義人民共和国の伝統的な団結である人民と軍隊の団結をより高い段階へと引き上げました。総書記は愛の政治、信頼の政治で広範な人民大衆を朝鮮労働党の周りに固く団結させ、全人民と人民軍将兵を党と思想と運命をともにする唯一の全一体にしました。

それで朝鮮民主主義人民共和国は核兵器よりもっと強い全社会の一心団結という政治的・思想的武器を所有するようになり、いかなる嵐にもゆるぎない政治思想強国の威容を轟かすことができました。

総書記は復興する社会主義強国建設の新時代を開きました。総書記は国防工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させるという先軍時代の経済建設の基本路線を示しました。総書記は国防工業の第一義的な役割として国家経済全般を引き起こし、その発展を推進させました。これとともに朝鮮人民軍軍人が重要な部門を受け持って出口を開くようにし、全人民が革命的軍人精神を見習って全国各地で大きな勝利を収めるようにしました。

総書記の賢明な指導のもとに朝鮮人民は大きな経済的難関を切り抜け、復興強国建設で決定的な転換をもたらしました。1998年と2009年に朝鮮人民は自らの力と技術でつくった人工衛星の打ち上げに成功しました。国の各地に多くの建造物が立ち、通りと村、住宅の姿が文化的な社会主義に相応しく変貌されました。

これらはすべて朝鮮民主主義人民共和国の全般的な経済および文化建設が大きな飛

躍の軌道に乗ったことを示しています。

総書記は富強な社会主義強国の建設のために生の最後の時期まで現地指導の道を歩み続け、走る列車の中で殉職しました。総書記は逝去しましたが、総書記の富強な社会主義強国建設の偉業は変わることなく継承されています。

朝鮮民主主義人民共和国の金正恩総書記は先代領袖の思想と偉業を継承するという固い意志を国内外に宣布しました。総書記は国防力をより増大させ、富強な社会主義国家建設を勝利へと導いています。

2012年12月12日、金正恩総書記は人工衛星「光明星-3」号2号機の打ち上げを現地で指導しながら成功させました。

1997年10月8日、金正日総書記はすべての党員と朝鮮人民、人民軍将兵の一致した意思と念願によって朝鮮労働党総書記として推戴されました。

総書記は朝鮮労働党を金日成主席の党、先軍革命の強力な指導力量につくり、朝鮮労働党を勝利的に導いて復興強国建設の永遠な土台を築きました。1964年6月19日、党中央委員会で活動を始めた時から総書記は主席が創始したチュチェ思想を金日成主席に定義づけ、チュチェ思想にもとづいた党建設思想と理論を具現しました。それで朝鮮労働党を領袖の思想と指導体系が確立した党として発展させました。

総書記は党と国家建設、経済建設と教育、保健医療、文学、芸術とスポーツをはじめとした社会生活の各分野にたいする深い解答を与えた多くの著書を発表しました。

「社会主義は科学である」「思想活動を優先させるのは社会主義偉業の遂行にとって必須の要求である」「革命と建設において主体性と民族性を固守するために」のような総書記の著書は朝鮮革命だけでなく世界の社会主義偉業、自主偉業を鼓舞し推進させる上で大きな重要性をもつ思想と理論について明らかにしました。

金日成主席の逝去後、金正日総書記は一方ではチュチェ思想を変わらない党の指導思想にすることに深い注意を払い、他方ではチュチェ思想を根本にする先軍思想を発展させることに注意を払い、チュチェ思想が党の永遠な指針となるということを規定しました。

それで朝鮮労働党は思想・意志、道徳・信義の上で一つの思想に基づいた団結を成し遂げることができ、朝鮮社会の指導力量としての不拔の威力を最大に誇示することができました。

総書記は朝鮮労働党を人民大衆と渾然一体をなし、人民に奉仕する母なる党に変えました。

総書記は朝鮮労働党は目的においても、任務においても人民大衆の自主性を実現するために闘争して存在し、人民の自主的要求と利益を実現するためには人民を党の周りに固く結束させるだけでなく、人民の運命も責任をもたなければならないと常に強調しま

した。また、総書記は活動家が「全党が大衆の中に入ろう！」「人民に奉仕する！」というスローガンのもとに大衆と親しく解け合い、彼らの意見に耳を傾け、人民のために滅私奉仕する人民の忠実な僕になるように導きました。

総書記は路線と政策の各項目を作成し、実施するたびに人民の意思と要求を徹底的に考慮し、絶対に人民の利益が侵害されないようにしました。総書記は国が帝国主義者の強い反社会主義攻勢によってもっとも厳しい試練と難関を経ていた去る世紀の末にも全般的無料治療制と無料義務教育制をはじめ、人民的施策を変わることなく実施していくように朝鮮労働党を導きました。

総書記は人民が裕福で文化的な生活を思う存分享受するように人民生活を著しく向上させるという重要な目的のもとに富強な社会主義強国建設路線を示しました。そのため、総書記は一生1万4290余の単位を訪れました。

総書記は朝鮮労働党を先軍偉業を導く老練な政治的参謀部に発展させました。

総書記は早くから先軍革命指導を始めました。アメリカをはじめとした帝国主義連合勢力が世界の社会主義体制が崩壊したことを奇貨とし、朝鮮民主主義人民共和国を窒息させるために狂奔していた20世紀末、総書記は先軍の旗をさらに高く掲げて先軍政治を社会主義基本政治方式に規定しました。総書記は弛みなく人民軍部隊を視察して政治的・思想的に、軍事技術的に人民軍の潜在力を最大に高めました。

総書記が国防工業の発展に第一義的な意義を付与するという新たな経済建設路線を示すことにより、人民軍は近代的で強力な攻撃および防御手段をもっとも高い段階で整えるようになりました。

総書記はすべての面で先軍政治を具現して朝鮮民主主義人民共和国が政治思想強国、軍事強国の隊列に堂々と入ることができるようにし、社会主義強国建設の新時代を開きました。総書記は富強な社会主義強国建設への朝鮮人民の総進軍を導く不拔の朝鮮労働党とともに生き続けるでしょう。

今日、朝鮮人民と進歩的人民は金日成主席と金正日総書記の偉業の合法的で堂々たる継承者である金正恩総書記の偉大な業績について誇らしく見なしています。

金正恩総書記は自分の偉大で貴い業績によって尊敬を受けています。われわれは平和と尊厳、自主、進歩、発展を志向するすべての人民が総書記を支持することを願います。

平和と尊厳、正義と進歩を志向する世界人民よ！

われわれともに国の発展と全朝鮮半島の平和的で自主的な統一を目指す金正恩総書記と勇敢な朝鮮人民を支持しましょう。

ありがとうございます。